

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|------------------|
| I. 理念に基づく運営 | <u>11</u> |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | <u>2</u> |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | <u>6</u> |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | <u>11</u> |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | <u>30</u> |

| | |
|-------|--------------------------|
| 事業所番号 | 1290900107 |
| 法人名 | 株式会社 リエイ |
| 事業所名 | コミュニケア24 浦安いまがわ館 |
| 訪問調査日 | 平成 20年 3月 17日 |
| 評価確定日 | 平成 20年 4月 20日 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会千葉県支部 |

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | | | |
|---------------|--|-------|-------|
| 事業所番号 | 1290900107 | | |
| 法人名 | 株式会社 リエイ | | |
| 事業所名 | コミュニケア24 浦安いまがわ館 | | |
| 所在地 (電話番号) | 〒279-0022 浦安市今川 2-13-10 (電話) 047-355-6514 | | |
| 評価機関名 | 日本高齢者介護協会 千葉県支部 | | |
| 所在地 | 〒263-0012 千葉市稲毛区萩台町 696-132 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年3月17日 | 評価確定日 | 4月20日 |

【情報提供票より】(20年 2月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|---------------|----------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 13年 11月 1日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 24 人 | 常勤 9人, 非常勤 15人, 常勤換算 8.9 人 | |

(2) 建物概要

| | | |
|------|-------|-----------|
| 建物形態 | 単独 | 改築 |
| 建物構造 | 木造造り | |
| | 2階建ての | 1階 ~ 2階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------|----------------|--------------|-------|
| 家賃(平均月額) | 99,000 円 | その他の経費(月額) | 水光熱費等45,000円 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 720,000 円 | 有りの場合 償却の有無 | 有(3年) | |
| 食材料費 | 朝食 | 450 円 | 昼食 | 600 円 |
| | 夕食 | 700 円 | おやつ | 0 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要(2月 1日現在)

| | | | | | |
|-------|--------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 18名 | 男性 | 3名 | 女性 | 15名 |
| 要介護1 | 3名 | 要介護2 | 4名 | | |
| 要介護3 | 7名 | 要介護4 | 3名 | | |
| 要介護5 | 1名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 86歳 | 最低 | 75歳 | 最高 | 99歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-------------------------------------|
| 協力医療機関名 | コミュニケアシニアクリニック、市川東病院、浦安中央病院、順天堂浦安病院 |
|---------|-------------------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

浦安市の閑静な住宅街に平成13年11月に開設された2階建て改築木造のホームです。近くには教会、商店、レストランなどがあり、散歩や買い物に便利です。このホームのサービスの特徴は、理念にも掲げています「一緒に楽しく過ごす家」「普段の暮らしの継続」ですが、実際、職員は明るく、アンケートでも「家庭的な雰囲気、よく対応して頂いている」「職員が明るく昼夜よくみてくれて安心して頂いています」「家族は大変感謝しています」との声が多く寄せられています。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の課題は「職員の研修機会の増加と情報の共有化」は、外部研修は年1回全職員が受けるように、社内勉強会は月1回実施し改善しています。「職員の休憩所と共有スペースの拡大」は手狭間で、隣家との以前からの確執のため、検討はしていますが改善ができていない状況です。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者、職員は評価の意義を理解し、サービスの向上に活かそうとしています。今回自己評価を職員の意見を聞いてまとめています。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>平成19年2月からほぼ2ヶ月に1回、市職員、地域包括支援センター、自治会員、ボランティアセンター、利用者と家族、ホーム関係者(管理者、計画作成者)で会議しています。当初はホームの紹介から始まり、「リハビリについて」「食事について」「認知症サポート事業について」等テーマを決め、時には外部から講師を招いて取り組んでいます。</p> |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族への報告・連絡は、毎月GH便り、個人記録、月間アセスメント、金銭管理(領収書添付)でしています。意見・苦情の汲み上げは、「苦情は宝の山」の精神でその都度対応したり、意見ボックスを設置したり、家族会、運営推進会議で家族の意見を聞き対応しています。今後は会議に出席できない方、意見の言い難い方、訪問できない方のために年1回家族アンケートを実施し反映する事を期待します。</p> |
| 重点項目④ | <p>散歩時に挨拶を交わしたり、自治会に加入したり、自治会主催の夏祭り、社協主催の「ふれあい広場」公民館活動の「歌声広場」に参加しています。又ボランティアセンターとの共働、近くの幼稚園、教会、公民館などにも協力を仰ぎ、積極的に地域に溶け込む様努力しています。今後は、自治会の行事を待つだけでなく、ホームから声をかけ行事を開催し、又地域に貢献する行事を企画する事を期待します。</p> |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|---|------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 理念に「個性をもっと出してゆったりと一緒に楽しく過ごす家を心掛けます」「普段の暮らしの継続を大切に、地域に溶け込んだ生活をしたいと思います」の2項目を掲げ、地域密着型のグループホームの本来の主旨に沿っています。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 各階毎に理念を掲げ、毎月の会議で確認し、職員一人一人が理念の実践に向けて日々取り組んでいます。職員が理念の実践に日々取り組んでいる事がアンケートや、今回の調査で実感できます。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 散歩時に挨拶を交わしたり、自治会に加入したり、社協主催の「ふれあい広場」自治会主催の夏祭り、公民館活動の「歌声広場」に参加しています。又ボランティアセンターとの共働、近くの幼稚園、教会、公民館などにも協力を仰ぎ、積極的に地域に溶け込もうと努力しています。 | ○ | 今後は自治会の行事を待つのではなく、ホームから行事を開催し声をかけることを期待します。特に地域に貢献する行事(掃除、講習会の開催、近隣との消防訓練協力など)を期待します。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 前回の課題「職員の研修機会の増加と情報の共有化」は、外部研修は全職員年1回受けるようにし、社内勉強会は月1回実施し改善しています。「職員の休憩所と共有スペースの拡大」は手狭間で隣家との以前からの確執のため、検討はしていますが改善できず困っています。自己評価は、職員の意見を聞いてまとめています。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 平成19年2月からほぼ2ヶ月に1回、市職員、地域包括支援センター、自治会員、ボランティアセンター、利用者と家族、ホーム関係者で会議しています。当初はホームの紹介から始まり、「リハビリについて」「食事について」「認知症サポート事業について」等テーマを決め、時には外部から講師を招いて取り組んでいます。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|---|------|----------------------------------|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 2ヶ月に1回の地域推進会議、3ヶ月に1回の介護事業者協議会、地域密着型サービス事業者連絡会などの会合で連携を図っています。個別には、認定調査書類を届ける際等に相談しています。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 毎月1回「GH便り」「個人記録」「月間アセスメント」「金銭管理(領収書添付)」を家族に送付して、利用者の暮らしぶり、健康状態を報告しています。職員の異動、特別な行事等についてはその都度連絡しています。又何かあった時は必ず電話で家族に連絡しています。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 職員は家族の意見・要望について訪問時などその都度対応しています。家族会、地域推進会議で家族の意見を聞いたり、「意見ボックス」を設けたりして、「苦情は宝」の精神で対応しようと努めています。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 利用者のダメージを最小限にするため、個別に直前に伝えるようにしています。又職員の離職を最小限にするため、離職希望者に理由を伺い、対応可能な事については長期休養扱いの検討もしています。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新人は本社で研修を3日間行い、ホームで実地指導をしています。現在カリキュラムを作成中です。外部研修は年1回全職員が自分に合わせて受講するようしており、社内勉強会は月1回実施しています。外部研修は、日勤扱い、受講料・交通費はホーム負担で、参加者は社内勉強会の報告者になるようにしています。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム連絡協議会、介護事業者協議会、地域密着型サービス事業者連絡会などに参加しており、話合いの結果を定例会・勉強会で職員に紹介しています。現在、各会議で管理者層、職員層別に分け、課題を打合せするように申し入れています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|------|----------------------------------|
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 短期体験期間を設け、ホームのサービスを実際に体験して頂き、皆さんの反応や、意見を聞きながら受け入れてを行っています。スタッフも細やかに接しホームの雰囲気に早く溶け込めるように支援しています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は利用者の得意分野を把握し、本人の持っている力を発揮できる場面を用意し、利用者から学ぶ姿勢、敬意を持って接し支えあって生活しています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者本位のサービス計画やアセスメント、モニタリングを行っています。カンファレンスは本人、担当者を交えて行い希望を聞き取り入れています。困難な場合は皆が本人本位に検討した案や意見をすりあわせ検討しています。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 全スタッフがカンファレンスに出席することが勤務シフト上で困難なため、個々の考えや思いを記入し集めることを実施しています。多くの良い意見が反映されるように工夫していくと共に、土日や都合を聞いて開催し、家族の参加も積極的に図っていきたくと検討されています。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月に1回、ケアプランの見直し(モニタリング)を行い、本人や家族の意見を基にプランに反映させています。又、急変時や緊急性がある場合はその都度、家族や関係者と連絡を取り合い、計画の変更を行っています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|----|---|--|------|--|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | その時々利用者の要望に応じて、受け入れ協議し対応されています。(個別レクリエーション、外出、外泊等)ターミナルケアについても検討されています。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居時に医療機関の説明をしています。月2回(内科往診)週1回(訪問歯科)歯科衛生士による口腔ケアの指導が行われています。又、本人や家族の希望によっては別のかかりつけ医を紹介して、本人、家族の納得のいく医療支援を行っています。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 終末期についての同意書を本人、家族、医療機関と交わし、方針について共有しています。只、内容について具体的になっていないのが現状です。 | ○ | 医療機関との連携、家族との意思疎通、職員の必要に応じたケア内容など具体的な対応について検討を加え、マニュアルとしてまとめられることを期待します。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 職員は利用者を尊敬し、利用者に対し「優しく穏やかな言葉かけ」を職員間で周知徹底しています。又、個人情報に関する書類は、個人情報の保護の同意書に従い取り扱っています。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的には1日の予定がありますが、一人一人の体調に配慮しながら、その日、その時本人の気持ちを尊重して、個別に支援を行っています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 自分達でメニューを決め、買い物に行く日を3日設けています。外食や季節の旬な物を取り入れたり、行事食を提供したりしています。利用者一人ひとりの出来ること(食事の準備、後片づけ等)を引き出し、共にを行っています。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者は、ADLの低下や体力の低下で入浴する回数が減ってきていますが、入浴できる時は本人の希望する日・時間に合わせています。又、職員は利用者が心地よく満足するようにと色々工夫・支援しています。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | アセスメントを行い、利用者の生活の把握に努めています。又家族からは利用者の生活歴等を聞き、利用者一人ひとりに合わせた活躍の場を設け、皆で認め合い、共感し、様々な行事を作り上げる支援を行っています。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 一人で外出を希望される方には、家族と協議し、GPS探知機使用で、出来る限り希望に添えるように努めています。又、日常的にはその日の体調に合わせて、散歩、買い物、外食等の支援も行っています。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 夜間は鍵をかけますが、日中は玄関に鍵をかけていないので、利用者が自由に出入りできるようになっています。人が通るとセンサーが反応し鳥の鳴き声があるので確認が出来、利用者が自由に戸外に出られるように工夫しています。又、居室にも鍵は掛けていません。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 半年に1回、職員・利用者参加で避難訓練を実施しています。又運営推進会議でテーマとして上げ、報告し、相談しています。事務所には緊急対応手順・緊急連絡先を掲示し、消火器・探知器(煙・熱)・非常ベルなどが、設置されています。 | ○ | 年1回は消防署を呼んだ消火訓練を行い、1回は職員・利用者だけで避難訓練する事を勧めます。消防署を呼ぶ時には、救命救急措置などの講習会も企画することを望みます。2階の非常階段が急勾配のため工夫(避難訓練回数を増やす等)されることや夜間の避難訓練の構想を持っていますのでその実施を期待します。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 季節の食材を取り入れ栄養バランスを考えたメニューが作成されています。 食事残査記録、水分記録(水分制限のある方) 飲食物の少ない利用者には声かけや好みの飲食物(各種飲み物、バナナ、菓子パン)で補食出来るように支援しています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有空間は、限られたスペースの中、職員が色々工夫して利用者が居心地よく過ごせるよう配慮されています。季節感を出すため花を飾り、絵、人形、鉢植え、置物などを配置しています。又玄関には鳥の声のセンサーが設置され、人の出入りに耳障りにならないように工夫されています。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者は、自宅で使い慣れていたベット、ソファ、鏡台、戸棚、位牌、写真、花、観葉植物などを自分の部屋に持ち込み、自分の家にいるように居心地よく過ごしています。各部屋には洗面所とトイレが付いており、家族の訪問を配慮して、きれいなカーテンで仕切れるようになっていました。火災を考え、カーテンの上部は空いており、探知器が作動できるように工夫されています。 | | |